



## このリリースについて

- [マニュアルの変更履歴](#) (1 ページ)
- [はじめに](#) (1 ページ)
- [サポートされるバージョン](#) (2 ページ)
- [このリリースのドキュメント](#) (3 ページ)
- [Cisco Prime License Manager](#) (5 ページ)
- [不具合](#) (5 ページ)

## マニュアルの変更履歴

日付	変更の説明
2019年6月7日	Readme ファイルの警告へのリンクが追加されました。
2018年6月29日	最初の公開
2018年7月3日	IM およびプレゼンスサービスのビルド番号が更新されました。パブリッシュ済みドキュメントへのリンクが追加されました。
2019年4月8日	集中型展開に関する OVA 要件が更新されました。

## はじめに

これらのリリースでは、Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャ(Unified Communications Manager) および Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャIM およびプレゼンスサービス (Unified Communications Manager IM and Presence Service) の新機能、制限事項 および注意事項について説明します。このリリース ノートは、メンテナンス リリースごとに毎回更新されていますが、パッチまたはホットフィックス向けには更新されていません。

ユニファイドコミュニケーションマネージャは、Cisco Unified Communications システムの呼処理コンポーネントであり、企業のテレフォニー機能を拡張して、IP 電話、メディア処理装

置、VoIP ゲートウェイ、モバイル デバイス およびマルチメディア アプリケーションを利用可能にします。

IM And プレゼンスサービスは、ユーザが特定の時間に通信デバイス (電話機など) を使用しているかどうかなど、ユーザのアベイラビリティに関する情報を収集します。また、ウェブコラボレーションまたはビデオ会議が有効かどうかなど、個々のユーザの通信機能に関する情報も収集できます。Cisco Jabberやユニファイド コミュニケーション マネージャなどのアプリケーションは、この情報を使用して従業員間の生産性を向上させます。従業員が同僚との接続をより効率的にし、コラボレーション通信に最も効果的な方法を決定するのに役立つ。



(注) 過去は、輸出免許、政府規制および輸入の制限により、当社のユニファイドコミュニケーションマネージャとIM and Presence サービスは世界中で制限されていました。この問題に対処するための無制限の米国輸出分類を取得しました。IM and Presence サービスは、輸出規制なし (xu) バージョンのみをサポートします。無制限バージョンは、強力な暗号化機能が含まれていないため、IM and Presence サービスの以前のリリースとは異なります。

無制限バージョンのリリースをインストールすると、制限バージョンにアップグレードできなくなります。無制限バージョンを含むシステムでは、制限バージョンの更新インストールを実行できません。

## サポートされるバージョン

次の表に、リリース 11.5 (1) SU5 および SU6 でサポートされているバージョンを示します。

リリース 11.5(1)SU5 でサポートされているバージョン	リリース 11.5(1)SU6 でサポートされているバージョン
Ciscoユニファイドコミュニケーションマネージャ 11.5.1.15900-18	Ciscoユニファイドコミュニケーションマネージャ 11.5.1.16900-16
IMおよびプレゼンスサービス 11.5.1.1.15900-33	IM およびプレゼンスサービス 11.5.1.16910-12

リリースの不一致です。

これらのリリースには、IM and プレゼンスサービスの2つの主要な導入オプションが用意されています。

- 標準展開 (分散化) : 展開をサポートするには、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャIM およびプレゼンスサービスの両方で同じリリースを実行する必要があります。不一致はサポートされていません。たとえば、Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャが 11.5 (1) SU5 バージョンを実行している場合、IM およびプレゼンス サービスはサポートされている 11.5 (1) SU5 バージョンも実行する必要があります。
- IM およびプレゼンスサービスの集中展開 : 集中展開が IM およびプレゼンスサービスに設定されている場合は、IM and Presence 展開はCiscoユニファイド コミュニケーション マ

マネージャテレフォニー展開とは別のクラスタで実行されている必要があります。このオプションを使用すると、IM およびプレゼンスサービスの展開は、テレフォニー展開とは異なるリリースを実行できます。しかし、IM and Presence の中央クラスタ内では、IM and Presence の中央クラスタ内にある Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ のパブリッシャーノードは、IM およびプレゼンスサービスと同じリリースを実行している必要があります。Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ のこのパブリッシャーノードインスタンスは、主にデータベースとユーザのプロビジョニング用であり、テレフォニーを処理しません。

たとえば、IM およびプレゼンスサービスの中央クラスタがリリース 11.5 (1) SU5 を実行している場合、中央クラスタ内のユニファイド コミュニケーション マネージャ パブリッシャーノードも 11.5 (1) SU5 バージョンを実行している必要があります。ただし、テレフォニーの導入では、11.5 (1) SU6 などの別のリリースを実行できます。

## このリリースのドキュメント

### 新規および強化されたドキュメント 11.5 (1) SU5

これらのリリースノートとは別に、次のドキュメントが更新され、リリース 11.5 (1) SU5 に対して特に更新、書き換え、公開されています。

表 1: 11.5 (1) SU5 のドキュメンテーション

マニュアル	説明
<a href="#">ReadMe</a> ファイル	<p>リリースのインストールと展開の詳細については、いずれかの <a href="#">Readme</a> ファイルを参照してください。また、リリースに含まれているバグ修正と更新についても説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Unified Communications Manager リリース 11.5 (1) SU5 の Readme ファイル</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unified IM and Presence、リリース 11.5(1)SU4 の Readme</a></li> </ul>
<a href="#">互換性マトリクス</a>	<p>互換性マトリクスには、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ および IM and Presence サービスのアップグレードパスと互換性のあるデバイス、アプリケーションおよび統合に関する詳細情報が記載されています。</p> <p>このリリースでは、このガイドは、オペレーティングシステムのサポート、サポートされている暗号 および追加の統合などの互換性項目を含むように強化されています。</p>

マニュアル	説明
<a href="#">IMおよびプレゼンスサービス設定および管理</a>	<p>11.5 (1) SU5 では、このドキュメントは、以前のバージョンから完全に書き換えられ、再構成されています。この拡張バージョンには、次のドキュメントの改善が施されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 広範な設定タスクフローにより、より包括的でシンプルなシステム設定プロセスを提供します。この新しいフローによって、ほとんどの IM およびプレゼンス設定で Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャ 帳を参照する必要性が軽減されます。</li> <li>• 設定プロセスに一致するスムーズな章フロー。より良いナビゲーションを提供します。</li> <li>• システムを導入する前に決定する基本的な項目の概要を示す新しい計画の章。</li> </ul>
<a href="#">IM and Presence サービスのインスタントメッセージングのコンプライアンス</a>	<p>このドキュメントでは、メッセージアーカイバIMコンプライアンスソリューションの設定方法と、サードパーティコンプライアンスサーバ統合のセットアップ方法について説明します。</p> <p>このリリースでは、メッセージアーカイバ設定プロセスは再構成、更新されています。アップデートの中には、暗号化されたIMコンプライアンスデータベースを展開する方法の詳細が表示されます。</p>

### 11.5 (1) SU6 の新しいドキュメント

リリース 11.5 (1) SU6 では、次のドキュメントが新しく追加されています。これらのドキュメントとは別に、既存の 11.5 (x) ドキュメンテーションを使用できます。

- [Cisco Unified Communications Manager 11.5 \(1\) SU6 の Readme ファイル](#)
- [Cisco Unified CM IM およびプレゼンスサービス 11.5\(1\)SU6 の Readme ファイル](#)

### 既存の 11.5(x) ドキュメンテーション

11.5 (1) SU5 および SU6 のマニュアルの大部分については、Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャに既存の 11.5 (x) ドキュメンテーションを使用できます。既存の 11.5 (x) マニュアルの詳細については、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/docguide/11\\_5\\_1/cucm\\_b\\_documentation-guide-cucm-imp-1151.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/docguide/11_5_1/cucm_b_documentation-guide-cucm-imp-1151.html) の *Cisco Unified Communications Manager* および *IM* および *プレゼンスサービス*、リリース *11.5 (1)* のドキュメンテーションガイドを参照してください。

# Cisco Prime License Manager

Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ リリース 11.5(1)SU3、SU4、SU5 および SU6 は、Cisco PRIME ライセンス マネージャ リリース 11.5(1)SU2 以降と互換性があります。スタンドアロンの Cisco PRIME ライセンス マネージャを導入する場合は、お使いの PRIME ライセンス マネージャのバージョンが最低でも 11.5(1)SU2 であることを確認してください。それ以外の場合、Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャは、スタンドアロンの PRIME ライセンス マネージャとライセンスの使用状況を同期できません。

これらの Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ リリースのいずれかをアップグレードし、PRIME ライセンス マネージャのスタンドアロンバージョンを実行している場合は、Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ をアップグレードする前に、PRIME ライセンス マネージャ インスタンスを 11.5(1)SU2 以降にアップグレードしてください。



---

(注) 共存可能な PRIME ライセンス マネージャを導入すると、Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ と Cisco PRIME ライセンス マネージャは自動的に互換します。

---

## 不具合

### 11.5 (1) SU5 に関する警告

未解決および解決済みの警告のリストについては、次の [Readme](#) ファイルを参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 11.5 \(1\) SU5 の Readme ファイル](#)
- [Cisco Unified CM IM and Presence サービス、リリース 11.5 \(1\) SU5 の Readme ファイル](#)

### 11.5 (1) SU6 に関する警告

未解決および解決済みの警告のリストについては、次の [Readme](#) ファイルを参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 11.5 \(1\) SU6 の Readme ファイル](#)
- [Cisco Unified CM IM and Presence サービス、リリース 11.5 \(1\) SU6 の Readme ファイル](#)

